

報 告 書

開 催 日 時	令和 7 年 7 月 18 日 19 時 30 分 ～20 時 30 分		
自治協議会名	韮田自治協議会	開 催 場 所	韮田地区市民センター
出席議員	福村 教親、市川 岳人、大石 亮子、森川 徹		
	班 長	福村 教親	記録・報告者 大石 亮子
参加人数	51 名		

【主な意見・提言等】

<阿山文化センター周辺の公共施設について>

現状課題

- ・文化センター、ふるさとの森、道の駅など 3 施設の存続・活用が課題。
- ・民間貸付（物流拠点）案は議会で否決。地域利用や存続を求める声が強い。

参加者の意見

- ・方向性を変えるため議会の賛成を得るにはどうすべきか。地域も努力したい。
- ・議決前に現場を見て判断してほしい。旧阿山町時代は審議の際には議員が皆で見に行っていた。
- ・阿山町時代はスポーツと文化振興の拠点とされていた。文化ホールは地元出身の方からピアノや緞帳の寄付をいただいている。
- ・住民アンケートで存続の意志が示されていることを大事に捉えて欲しい。
- ・稼働実績はどうだったのか。

議会の意見

- ・6 月に一般質問で取り上げた。庁内でプロジェクトチームを立ち上げ住民も参画した形で検討をされていくということだが、時期などは明確ではないため声をあげていくことが必要。
- ・物流拠点化への反対があり議会で否決された。継続していくためには、民間の力活用も必要。
- ・道の駅のリニューアルを進めることも必要。議会として住民の声を聞く機会を持ちたい。
- ・地域からの提言書・署名提出は大きなことだ。
- ・スポーツ施設群は合宿利用も可能。阿山地域にとっての施設の必要性を発信すべき。
- ・ふるさとの森は夏休み毎日稼働していた、ホールは 300 人規模で発表会に適切で活用されていた。

<地域交通について>

現状課題

- ・三重交通玉滝線は暫定延長 5 年のみ。支所止まりで使い勝手が悪い。

参加者の意見

- ・実態に合ったコース設定が必要ではないか。
- ・実際の利用状況を明らかにすべきでは。
- ・自動運転の時代になっていくので、高齢者は免許返納を急がず、国も諸外国を参考にすべきでは。
- ・タクシーチケット配布など柔軟策は検討できないか。

議会の意見

- ・島ヶ原デマンドバスは成功していない。AI 型デマンド交通の導入を検討すべきだと思っている。AI が最適なルートを探し出してきてくれ、予約リクエストすると 30 分くらいで来てくれる。費用負担も今の行政バス負担くらいであり、週末は観光のニーズにも対応できる。
- ・通勤通学は定時運行、昼間は柔軟運行が望ましいのでは。
- ・自治協でも公共交通を課題として深掘りしていくべき。
- ・原課も「地域とともに考える」との姿勢である。

<消防分署の統合について>

現状課題

- ・年度内に統合場所を決定予定と聞いているが、場所の選定はどのようにしていくのか。適地が限られる。消防職員不足も背景。

参加者の意見

- ・住民意見や要望は反映できるのか。

議会の意見

- ・適地は限られる。統合の背景には消防職員の不足がある。
- ・住民の皆さんに知っていただく必要のある問題。

<その他>

現状課題

- ・農業：支援制度等、農業政策の課題。
- ・防災：訓練の内容や防災ジャンパー表記に疑問あり。
- ・空き家：通学路沿いに崩壊危険家屋が存在。

参加者の意見

- ・農業：奈良時代から稲作の地である。補助金制度を明示してほしい。
- ・防災：訓練に不安、ジャンパーの背中の表記に違和感。
- ・空き家：下友田 14 件の危険家屋を改善してほしい。

議会の意見

- ・ 農業：新しい農業振興計画を策定中。現場の声を聞いて支援を検討していく。一次産業従事者への補助が必要。
- ・ 防災：ジャンパーの件は防災危機対策局に伝える。
- ・ 空き家：地域からの要望提出で対応しやすい。

伊賀市議会議長 様

令和7年8月18日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和7年度 地域意見交換会 7 班

班長 福村 教親